

# 宇都宮市立宝木小学校第5学年【算数】分類・区分別正答率

## ★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	82.8	79.3	77.1
	量と測定	74.8	73.4	72.9
	図形	79.6	79.4	78.0
	数量関係	71.0	67.0	64.0
観点	数学的な考え方	72.2	68.2	65.1
	数量や図形についての技能	81.0	77.7	75.4
	数量や図形についての知識・理解	76.5	74.5	72.8

## ★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○分数の加法、小数の乗法(乗数が整数)、整数の乗法の問題の正答率は、いずれも県平均を上回っており、それぞれ99.1%、89.8%、88.9%と高く、よく理解している。 ●「概数の表し方」の正答率は、県平均よりも上回っているものの、67.6%と低めである。	・通分の仕方や小数点の動かし方など、計算の仕方を丁寧に説明し、繰り返し練習問題に取り組ませる。 ・四捨五入を使つての概数での表し方を再度確認し、練習問題にも多く取り組ませて定着を図っていく。
量と測定	○角の大きさの見当をつける問題の正答率は、88.9%と高い。また、長方形の面積を求める問題の正答率も94.4%と高く、よく理解している。 ●面積の $\text{m}^2$ と $\text{cm}^2$ の単位の換算の問題は、正答率が41.7%と低い。	・面積の単位の関係を表や線分図などを活用して理解させていくとともに、多くの練習問題に取り組ませていく。
図形	○直方体の見取り図から平行な面を見つける問題や立方体の展開図に関する問題の正答率はそれぞれ94.4%、88.9%と高く、よく理解している。 ●ひし形を作図する問題の正答率は、県平均よりも上回っているものの、63.0%と低めである。	・四角形の性質や作図の仕方を再度確認し、作図の場面を多く取り入れたり、練習問題に取り組ませたりしていく。
数量関係	○四則混合で( )を用いた式の計算問題の正答率は、85.2%と高く、県平均を9.5ポイント上回っている。 ○表を読み取る問題の正答率は95.4%と高い。また、折れ線グラフを読み取る問題の正答率は、県平均よりも11.1ポイント上回っており、よく理解している。 ●分配法則を用いた計算問題の正答率は、44.4%と低い。 ●棒グラフと折れ線グラフを比べる問題の正答率は、25.9%とかなり低い。	・計算のきまりや法則について、再度確認し、繰り返し復習させる。また、整数だけでなく小数を使った問題も数多くの解かせることで、更なる定着を図っていく。